

気象予報士講座 ステップアップコース

ステップアップテキスト

CONTENTS

- 学科一般 テキスト ————— P5 ~ 56
- 学科一般 テキスト解答例 ————— P57 ~ 100
- 学科専門 テキスト ————— P101 ~ 132
- 学科専門 テキスト解答例 ————— P133 ~ 154
- 実技テキスト ————— P155 ~ 182
- 学科チェックテスト 予報業務に関する一般知識 ——— P183 ~ 192
- 学科チェックテスト 予報業務に関する専門知識 ——— P193 ~ 202
- 実技チェックテスト1 ————— P203 ~ 216
- 実技チェックテスト2 ————— P217 ~ 236
- チェックテスト解答用紙 ————— P237 ~ 252
- 実技テキスト解答例 ————— P253 ~ 268
- チェックテスト解答例 ————— P269 ~ 304

1. はじめに

ようこそ、ステップアップコースへ。このコースは「ひと通り学習は済ませたが、合格まであと一步届かない」「学科は合格したことがあるが免除が切れてしまった」「実技問題の解答のコツがなかなかつかめない」といった受験生を対象としています。

みなさまが合格への階段を駆け上がるサポートとなるようにスタッフ一同尽力いたしますので、よろしくお願いたします。

気象予報士講座スタッフ一同

2. 講座内容

ステップアップコースは以下の4つの内容に分かれています。

①学科一般ステップアップ<自習問題>

学科試験「予報業務に関する一般知識」合格に向けて作られたテキストです。空欄に入る適当な語句や数値はキーワードになっています。

法令に関しては、本番形式になっています。多くの問題をこなして得点力を上げましょう。

参考書など何も見ずに解いた状態でどれくらい正解できるか。これを確認することによって、今の段階での実力や苦手分野を把握することができます。

②学科専門ステップアップ<自習問題>

学科試験「予報業務に関する専門知識」合格に向けて作られたテキストです。空欄に入る適当な語句や数値はキーワードになっています。

参考書など何も見ずに解いた状態でどれくらい正解できるか。これを確認することによって、今の段階での実力や苦手分野を把握することができます。

③実技ステップアップ<添削問題>

実技試験合格に向けて作られたテキストです。二部構成になっています。

<第一部 シナリオ読解マスター>

「時間が足りなかった…」「もう少し時間があれば…」。実技試験終了後によく聞く感想です。

限られた時間で素早く解答するためには慣れるのがイチバンなのですが、問題の構成を見抜くことを意識すると効率が良くなります。「この問題なら出題者は何を尋ねたいのか」、つまり出題の意図をつかめば、よりスムーズに解答できるようになるでしょう。これが入試や資格試験に取り組む際によく言われる「問題（出題者）とケンカをするな。問題（出題者）と仲良くなるな」「問題（出題者）とコミュニケーションをとろう」ということなのです。

問題文をざっと読めば展開はわかりますが、第一部では図から問題のシナリオを読む力を確認します。

<第二部 問題読解・解答表現マスター>

試験問題は国語です。どれだけ気象の知識があっても問題の意味を把握できない、また解答をうまく表現できないと点数は取れません。

ここでは、みなさんが答案の採点者になっていただきます。○×を判断し、×ならその理由を書き込んでください。いつもとは視点を変えて、問題読解力と解答表現力をチェックします。「間違い探し」のように楽しんでいただければ幸いです。

④合格へのラストステップ ~チェックテスト~ <添削課題>

本番形式のテストです。ステップアップの効果が表れているかを確認いたしましょう。本番と同じように時間を決めて解答することをお勧めします。解答後は答案をご郵送ください。

3. 学習スケジュール

このテキストの学習期間は約3ヶ月（12週）を目安としています。次のスケジュールを参考に学習を進めていただくことをお勧めします。

■学習スケジュール

日数	講座内容
4週間	学科一般ステップアップ
3週間	学科専門ステップアップ
2週間	実技ステップアップ
2週間	テキスト復習期間
1週間	チェックテスト

添削問題はポストに投函してから、お手元に返送されるまで2～3週間かかります。そのことを踏まえると、遅くとも試験日の3週間前には添削問題の提出はすべて終えたいところです。

したがって1月試験を目指す方なら10月半ばには、8月試験を目指す方なら5月半ばには学習を開始することをお勧めします。

■スケジュール例 2011年1月30日受験を目指す場合

2010年10月17日（日）～10月23日（土）	学科一般ステップアップ<熱力学>
10月24日（日）～10月30日（土）	学科一般ステップアップ<力学>
10月31日（日）～11月6日（土）	学科一般ステップアップ<ラストステップ>
11月7日（日）～11月13日（土）	学科一般ステップアップ<法令>
11月14日（日）～11月20日（土）	学科専門ステップアップ<観測>
11月21日（日）～11月27日（土）	学科専門ステップアップ<予報>
11月28日（日）～12月4日（土）	学科専門ステップアップ<情報>
12月5日（日）～12月11日（土）	実技ステップアップ<シナリオ読解> ※11日までに添削問題提出
12月12日（日）～12月18日（土）	実技ステップアップ<問題読解・解答表現> ※18日までに添削問題提出
12月19日（日）～2011年1月1日（土）	復習期間。 ※この期間中に実技ステップアップの 添削問題答案返却予定。
1月2日（日）～1月8日（土）	チェックテスト ※8日までに添削問題提出
1月22日（土）まで	チェックテスト答案返却
1月30日（日）	第35回気象予報士試験

開始時期を早めていただくか、実技ステップアップの添削提出を早めていただければスケジュールに余裕が生まれます。

試験日までに添削問題の答案の返送を希望される方は試験日3週間前までに投函してください（上記の場合、1月8日まで）。それ以降になりますと、答案の返送が試験日以降になることがありますのでご了承ください。

※部分合格されている方へ

免除分に関しては学習の優先順位を下げても良いですが、余裕があれば解いてみてください。実技といっても学科とリンクしており、学科で尋ねられるような問題が実技に出題されることもあります。無駄にはなりませんのでチャレンジしてみてください。

なお、ここに挙げたのは、あくまでも例ですので、みなさんのご都合にあったスケジュールを立てられると良いでしょう。

4. その他

問題集やチェックテストは繰り返して解くと効果が上がります。実技チェックテストの解答用紙などは、再度解答するときのために、あらかじめコピーを取られることをお勧めします。

ステップアップコース

講座紹介

講師紹介

- 名前: 中西 秀夫
- 2001年3月 気象予報士資格取得
- 講師歴: 2001年4月～
同時に予報業務にも携わる。
- 趣味: 山登り
- 好きな言葉: 独考独行

講座内容【学科一般】

①熱力学マスター

②力学マスター

③ラストステップ

④法令

空欄の穴埋め方式。

目標期間→4週間

講座内容【学科専門】

①観測マスター

②予報マスター

③情報マスター

空欄の穴埋め方式

目標期間→3週間

講座内容【実技】

①シナリオ読解マスター

②問題読解・解答表現マスター

記述式。添削課題です。

目標期間→2週間

チェックテスト(添削課題)

学科一般・専門、実技1・2と本番の模擬試験。
試験日を設定し、本番に近い環境で臨めば、より大きな効果が得られます。

自分で決めた「模試」の日の前までは今まで学習したところを復習し、テストに取り組む時は何も見ないようにしましょう。

目標スケジュール

日数	講座内容
4週間	学科一般ステップアップ
3週間	学科専門ステップアップ
2週間	実技ステップアップ
2週間	テキスト復習期間
1週間	チェックテスト



予報士試験本番へ

部分合格されている方

- 免除分に関しては優先順位を下げていただいても良いですが、余裕があれば解いてみてください。専門知識で出題された問題が次回是一般知識に出題されたり、学科で尋ねられていることが実技で出題されることもあります！

過去問題について

- 過去5回分はしっかり解きましょう。
- 学科は自分で解説まで書くことができればベストです。
- 実技は答案を提出して添削を受けましょう。
- チェックテストと同じように本番に近い環境で取り組むことができればベストです。

この講座を最大限に活用するには

- わからないところは質問する！

→まず、自分でよく考えて、その結果を確認できるようにになれば理想的です！

- 積極的に添削を受ける！

→実技は自己採点が難しいです。客観的な目で評価を受けましょう。

「何がわかっているか、何がわかっていないか」
を知ることが大切。それを知るために問題を
解き、添削を受けましょう！！

ステップアップコース

講座紹介 終わり